2021 年度下半期進捗報告書（実行団体）

● 提　出　日　：　2022 年 4 月 11 日
● 事　業　名　：　保見に新しい風を！
● 資金分配団体　：　一般財団法人中部圏地域創造ファンド
● 実 行 団 体　：　保見プロジェクト
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☐有　☑無

① 実績値　（実績値の対象は、基本は 2021 年 9 月～2022 年 3 月末。中間報告時に 9 月を入れている場合は 10 月からでも結構です）

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況（実施した活動内容も5W1H や、参加人数等もわかるように書いてください＝別紙一覧でも可）	進捗状況＊
1　中京大学の学生が保見プロジェクトに取り組み保見団地の美化と居住者の交流に貢献する	保見プロジェクトに主体的にかかわる学生数	10 名	2021 年 3 月	学生が、毎月第 1 日曜日の朝に県営保見自治区が実施している一斉清掃（毎回 3 名程度）、年 2 回の草刈り（毎回 2 名程度）、年末の集会所大掃除（5 名）、燃やすごみ回収日前日（日曜日と水曜日）の日本語とポルトガル語での放送等に参加し、自治区役員及び居住者と交流を重ねている。子ども食堂等に関わる学生も含めれば、主体的に関わる学生は、10 名を優に超えている。	1
2　保見に暮らす子どもたちが子ども食堂に来て交流や学習を行う	子ども食堂の利用者数	20 名	2021 年 3 月	2020 年 10 月から子ども食堂を毎週金曜日の朝に開催している。コロナ感染予防のため、フードパントリーの期間が続いていて、利用する子どもが 20 名に達しないことも多いが、facebook で前日にメニューの画像と共に利用を呼び掛けるようになって、20 名分すべてがなくなることも増えた。フードパントリーでも毎回 2 名の学生が参加し、食料を受け取った子どものリストを作成している。 学習に関しては、2021 年 4 月と 5 月のチーム会議での協議を経て、JUNTOS（じゅんとす）という学生の自主団体が設立され、土曜日の午前中に学習支援活動をしている。参加する学生は、毎回 5 名から 8 名である。 いずれは、JUNTOS の授業の後、土曜日の昼に子ども食堂を実施したい。	2

3　保見に暮らす高齢者が高齢者向け食事サービスおよび生活支援を利用し、多様な方々と交流を持つ	高齢者向け食事会と生活支援の利用者数	20 名	2021 年 3 月	「高齢者サロン」を実施している。緊急事態宣言発出により、予定していた高齢者サロンを中止しなければならなかったことが多いのが残念である。2021 年下半期は、5 回実施し、毎回 5 名程度の学生が参加した。 手伝ってほしいことがある方が、電話で依頼し、学生が対応する「高齢者お手伝い」の利用者は、月に 1 回から 2 回で、内容は、電化製品の設置、ワクチン予約、買い物付き添い等である。	2
4　中京大学の学生が保見団地でのフィールドワークに積極的に参加し、事業成果の測定にもとづいて事業計画を見直す	フィールドワークを実施する学生数	80 名(年間延べ人数)	2021 年 3 月	上記の事業の他、自治区による敬老の日の記念品配布の手伝い、県営保見住宅 25 棟すべての階段のゴミ放置状況の調査、センサー付き証明を設置する予定のゴミステーションの事前調査、トルシーダによる各種事業の手伝い等で、フィールド経験を積み重ねてきた。 昨年度はひとり、今年度は 3 人の方にライフヒストリーを語っていただいた。ひとりひとりの生き方を教えていただき、胸に刻んでいくのは、フィールドワークの基本であり、保見団地の歴史やお住まいの方々の共通点・相違点を知る上でも重要である。 学生数の目標値は優に超えている。ただ、データとしてまとめるところまでにとどまっている。 コロナが収まったら、住民アンケートの概要版等を含め、調査結果をまとめた資料を使って、おとしよりや子どもたちと保見団地に望むことを語り合い、望ましい保見団地に近づくプロセスを共に考える機会を持ちたい。	2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

②事業進捗に関する報告（以下、すべて）

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
1.達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値

3. 活動に関する報告
トルシーダが毎週金曜日に実施している卵配布の参加者リスト（棟番号別に匿名化）、同じ時間帯に中京大が実施している子ども食堂の参加者リスト（棟番号別に匿名化）、県営保見住宅 25 棟すべての階段のゴミ放置状況等の調査等、活動成果は、逐次、保見団地プロジェクトの dropbox にアップしている。
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
マスク着用、3 密回避、検温。

③広報に関する報告

1.　シンボルマークの使用状況
☑自団体のウェブサイトで表示している　　☐広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） 豊田市民活動センターが JUNTOS 紹介動画をホームページにアップ。 2.広報制作物等 チラシ：「高齢者サロン」「クリスマス子ども食堂スペシャル」「ぐんぐんクラス」 3.報告書等 発表：「協同集会 in 東海」（9 月 26 日）、中京大学「ボランティア論」（10 月 19 日）、名古屋外国語大学「多文化共生計画実習」（10 月 26 日）、金城大学「グローバル社会論」（11 月 5 日）、日本福祉大学「多文化共生論」（12 月 13 日）、国会議員連盟オンライン視察（2 月 28 日）、中京大学現代社会学部教授会（3 月 14 日）、中京大学多様性研究会（3 月 18 日） 刊行物： 斉藤　尚文「保見団地へのお誘い：4 人の方々のライフヒストリーを通して」『中京大学現代社会学部紀要』15(2): 5-30（2022 年 2 月） 中尾・黒川・斉藤「ロングインタビュー：斉藤尚文さんとの対話：ある人類学者の半生について（4)」『南山考人』50: 3-46（2022 年 3 月）

4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

高齢者サロン：「ボードゲーム」（10 月 2 日）、「思い出の写真」（10 月 27 日）、「ボードゲーム」（11 月 3 日）、「ボードゲーム」（11 月 6 日）、「マスクケース制作」（11 月 13 日）、中京大学スポーツミュージアム・オンライン見学（11 月 17 日午前）、「スマホ講座」（11 月 17 日午後）
子ども食堂：「クリスマス子ども食堂スペシャル」（12 月 21 日）

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）

一斉清掃（12 月 5 日）

子ども食堂（12 月 3 日）

高齢者サロン（11 月 13 日）

高齢者お手伝い（10 月 10 日）